

# 燕市 GIGA スクール通信

## つばめつながる広場ホームページ ご活用ください

つばめつながる広場（市内の先生方に公開するホームページ）を開設しました。中身の整備はこれから進めてまいります。皆さんに便利に活用していただけるものしていきたいと考えています。

「〇〇も「つながる広場」にあるといいなあ」というご意見があればぜひ学校教育課へ。

URL：<https://sites.google.com/g.tsubame-city.ed.jp/tsunagaruhiroba>

- 「はじめよう！これからの家庭学習」ハンドブック
- GIGAスクール通信
- Gsuite for Education操作ガイド
- Q&A
- フィルタリング解除申請フォーム
- ICT支援員ROOM

いつでも自主研修できます。年度内にすべての動画研修を完了させましょう。

GIGA スクールサポーターが質問に回答してくれます。これまでのQ&Aが掲載されています。困ったときにご活用ください。

ICT 支援員がクロームブックの活用方法を紹介しています。ぜひご覧ください！

# MEXCBT (メクビット) が利用できるようになります

## MEXCBT (メクビット) とは? MEXT+CBT

文部科学省 Computer Based Testing

- 文部科学省が開発
- 児童生徒が学習端末を用いて、学校や家庭においてオンラインで問題演習等ができる CBT システム
- 国や地方自治体等の公的機関が作成した問題を活用可能
- 「GIGA スクール構想」により実現する「1人1台端末」を活用した「デジタルならではの学び」を実現
- 採点は基本的に自動採点で、即座に結果が分かる文部科学省 CBT システム (MEXCBT:メクビット) について

燕市立全小中学校が活用できるよう登録しました

### MEXCBTのスケジュール

R2、R3前期  
(プロトタイプ)

- 全国数百校で実証
- 2,000問搭載  
(全国学調等)

R3後期  
(機能拡充版)

- 希望する全国の学校で活用
- 約1万問搭載(年度内に2~3万問程度)
- 全国学調、地方学調、CBTならではの  
問題等
- 機能拡充(年度内に順次機能追加)

R4~

- 希望する全国の学校で活用
- さらに問題等を追加
- **全国学調CBT試行調査等で活用**
- 4月から通年で利用できるよう検討

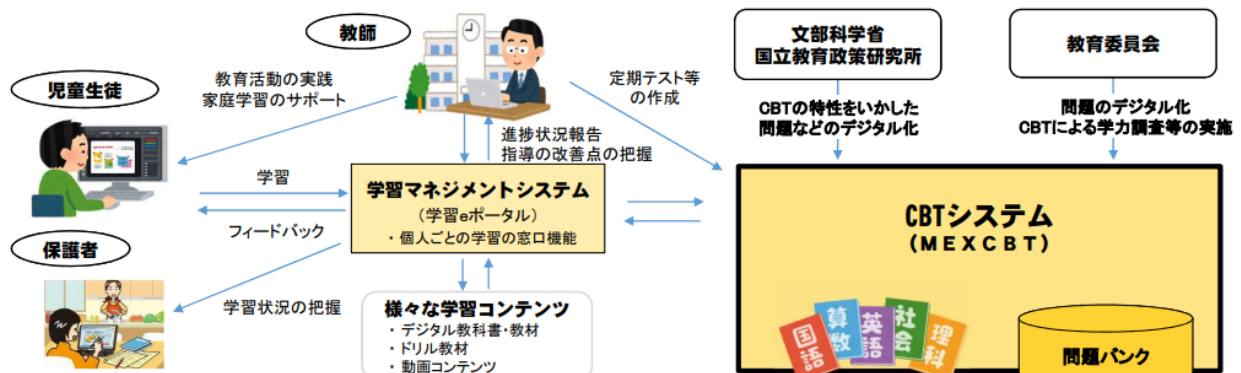
以下に文部科学省から示されている資料の抜粋を紹介いたします。

下の URL から文部科学省が MEXCBT について紹介している HP にアクセスできます。

URL : [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/mext\\_00001.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/mext_00001.html)

### 学びの保障オンライン学習システム (MEXCBT) とは

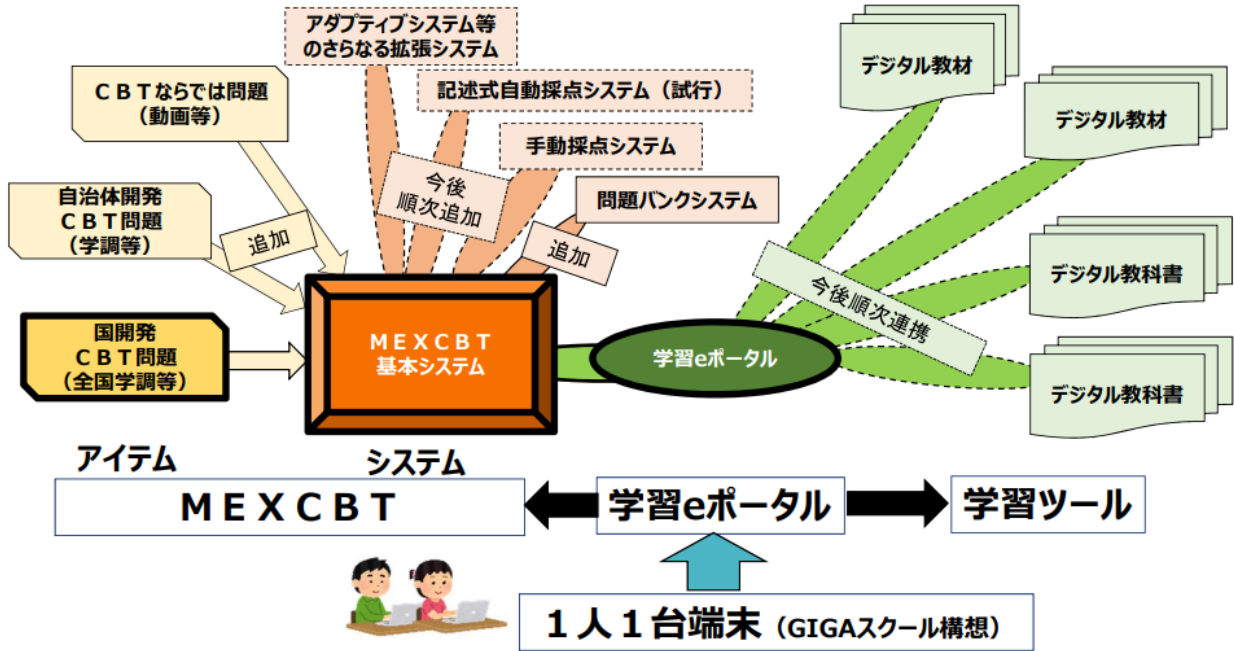
- 小・中・高等学校等の子供の学びの保障の観点から、**児童生徒が学校や家庭において、学習やアセスメントができるCBTシステム**
- 文部科学省が開発 (事業者連合体のコンソーシアムに委託)
- 国や地方自治体等の公的機関等が作成した問題を活用可能
- 「GIGAスクール構想」により実現する「**1人1台端末**」を活用した「**デジタルならではの学び**」を実現



※ CBT : Computer Based Testing

## MEXCBTの基本的な考え方

- 公的なC B Tプラットフォームとして、デジタル学習の基盤的な仕組み
- 利利用者、事業者を超えて相互に利活用が可能な汎用的な仕組み  
(国際標準規格等の汎用的な仕組みの導入)  
→ 問題・データや知見等の相互利活用 (教育D X)



## 文科省CBTシステム (MEXCBT) 活用イメージ



## MEXCBTの概要と活用の流れ

### システム概要

#### 【総論】

- 児童生徒が学習端末を用いてオンラインで問題演習等ができるシステム(問題やデータの相互運用が可能な国際標準規格に基づく汎用的なシステム)を開発

#### 【活用方法】

- 通常活用している学習端末を用いて、家庭からでも学校からでもアクセスが可能
- 2通りの活用方法が可能

##### ①一問一答形式

学年・教科を選び、一問一答形式で解答後に解説等が表示され学習する方式

##### ②複数問題解答形式

学年等を選び、何問かの束で解答する方式



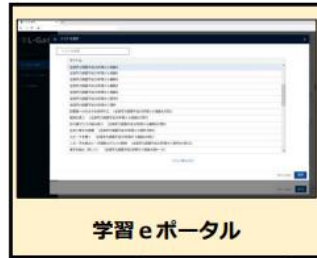
- 選択式問題や一部短答式問題は自動採点

#### 【具体的な問題】

- 国や地方自治体等の公的機関等が作成した問題を活用(例)全国学力・学習状況調査問題、高等学校卒業程度認定試験問題、自治体独自の学力調査問題、動画等を活用した「CBTならではの」問題など

### 活用の流れ

#### ①問題を選ぶ



学習 e ポータル

教員

#### ②問題を解いて学習する



MEXCBT

児童生徒

#### ③結果を確認する



学習 e ポータル

## MEXCBTのプロトタイプの実証の状況

### プロトタイプの実証

- 令和2年度にCBTシステムのプロトタイプを開発。
- プロトタイプには、国が作成した既存の問題(全国学力・学習状況調査問題や高等学校卒業程度認定試験問題など)をデジタル化して、約2000問を搭載。
- これまで延べ約14万人(令和2年度3万人、令和3年度11万人)の児童生徒が活用。

### 実証の様子



授業での活用

七尾市立朝日小学校HPより抜粋



朝学習での活用

橋原町立橋原学園HPより抜粋



学習の様子

福島大学附属中学校HPより抜粋

### MEXCBTを活用した現場からの声(一部抜粋)



MEXCBTは、授業中や放課後に活用したり、家庭学習(宿題)の際に活用したりした。

児童生徒は問題を解けば正答率が出るため、楽しそうに使っていた。今後も利用したい。

教員は配信するだけでテストを利用できるため、印刷や採点の手間が省け、業務効率が向上した。